

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2016年1月10日発行 第79号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>

# ぐるみ 総房

あらためて子どもの現実に向き合い、子どもの育ちを豊かに！

## 地域の子どもNPOが果たしている役割...

子ども劇場千葉県センターからみえる子どもたち

◆チャイルドラインから

- ・勉強や成績のことより人間関係が原因で学校に行きたくない。友人ごとの関係調整に悩みひとりで抱え込んでいる
- ・いじめや仲間はずれの経験でひとが怖い、自信が持てない、友人との関係性と自分とは何かの葛藤に苦しむ。親の期待と成績のギャップに悩む
- ・ひとり親家庭やステップファミリー(再婚した家族)での親との関係。子どもの貧困が背景にみえる話。
- ◆地域の子ども対象のさまざまな活動は、子どもが成長していく上でなくてはならない文化芸術体験、社会体験、自然体験不足による育ちへの危機感を背景としています。また、次代の子どもに向けた活動が、環境をはじめ様々な分野でも展開されています。

研究者 森本扶さんからみえる子どもの現状

・トライアンドエラーの時間が狭められている。

- ・少年事件から浮かび上がる厳罰意識。事件の背景が理解できない「体感治安」の悪化
- ・ゼロトレランス方式の導入。すでに見放されている、あきらめているという子どもたちの現実をスクールソーシャルワーカーがみる。
- ・下校指導は子どもに寄り添っているか。
- ・保育園が迷惑施設？
- ・行きつ戻りつの時間の喪失と放課後の学校化。塾が仲間づくりのレクリエーション、パッケージ化したあそび。生活空間が窮屈になり寛容さが失われていく。
- ・自己責任化し、寛容さを失う。イレギュラーに対して責任論がとびかい、不信任がおこる
- ・要求され期待される「自発性」、限定される「自発性」。

## 課題解決のために

「お互いさま」の関係が育まれる空間をたくさん用意する。助け助けられる、教え教えられる。役割を入れ替わることによって想像力をはたらかせ、理解する力を高める。お互いさまが育みやすい多様な空間が寛容さを育むうえで重要。

- ・信頼のコミュニケーションを意図的にプロデュースする
- ・顔が見える関係の中でリスクと向き合う
- ・地域が子どもによりよい、どう育てていくのか。文化の力は大切
- ・「三つのS」スペース、システム(しくみ、課題解決のための提言)、スピリット(子どもをどう育てるか)。新たなコミュニケーションづくりが必要。
- ・子どもの力を信じ、発揮できる場を。子どもを動かす文化の力

※森本扶さん：教育学を専門として埼玉大学、都留文科大、法政大、国士館大非常勤講師。日本子どもを守る会編「子ども白書」編集長。子ども劇場千葉県センター団体正会員学習・交流会(二〇一六年一月二七日開催)講師。

## 子ども劇場千葉県センターがめざすこと

子どもの権利としてすべての子どもは「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」が保障されています。子どもが育つ現状を何とかしなければと思う大人の責任として、「子どもが育つ豊かな地域社会」を団体正会員とともにつくっていききたいと思います。

## 宇野京子理事長 新年のあいさつ

新年おめでとうございます。今年「子ども劇場」が一九六六年に福岡に発足してから五〇年目を迎えます。子どもたちを取り巻く環境を不安に思う親たちが、子どもと文化・地域づくりを中心に立ち上げ、それはまたたく間に全国に広がり、千葉県では一九七一年に千葉市で始まり、県内中に広がりました。そして、子どもと文化を担うたくさんの人材が、今や子どもの分野だけではなく介護や地域社会のコミュニティ分野等で活躍しています。

子どもにやさしいまちは、すべての人にやさしいまちをつくりたい。常に社会の子どもの姿に目を向けつつ、子どもを人格ある主体者であるというぶれない精神、「チルドレンファースト」を合言葉に、今年も地域の共感者を広げ、元気に事業を展開していきましょう。

# 子どもの貧困が6人に1人 孤立化がDVや事件につながる！

周辺を見回してみてもなかなか見えにくい子どもの貧困

日本の子どもの貧困率16.3%、OECD（経済協力開発機構）加盟34か国中、11番目。もっとも高いのはイスラエル28.5%。もっとも低いのはデンマーク3.8%。日本では今、子どもの6人に1人が貧困のもとで暮らしている。第12回千葉県人権懇話会では、子どもの貧困問題を取り上げた。3人のシンポジストから貧困の実態や支援の課題について聞いた。

結婚前から夫に借金がある。同居・別居を繰り返して、銚子市の県営住宅に住み、給食調理の仕事についた。兼務は禁止と言われて6万円しか収入がなかった。児童扶養手当が4か月に1回入る時に県営住宅の滞納分を払うという暮らし。子どもの中学進学時に制服代など10万円くらいかかり闇金から借りた。毎日ケータイに取り立ての電話が入り追い込まれていく。県営住宅家賃を2年以上滞納して居られなくなった。明け渡しの日、お母さんは自分だけ自殺しようと思っていたのにできない。お子さんの首を絞めて殺してしまつた。体育祭の応援団の紅白のハチマキを洗濯し、アイロンし、学校に持っていくことになっていたので首をしめた。

小学校4年生の子どもと二人暮らし。親族は近くに住んでいる。ダブルワークで、月収は9万円。年収は120万円ないけれど、家賃4万円を払い「なんとか暮らしていける」「節約が上手だから」と言っている。セイフティネットは近居の親族支援と本人の節約能力、気力。リスクは職業の不安定。

ダブルワークしている。中3の息子の塾代がでないので、昼は介護用品のレンタルショップで、夜も居酒屋で働いている。おばあちゃんと同居で、その点は安心材料だが、パートから帰って、少し子どもとふれあって、バイトに行き、寝るのは夜中2時3時。健康状態がぎりぎり、まぶたにけいれんが走っている状態だが「今、私は大丈夫」と言っている。ギリギリの状態だ。

## 「ひとり親家庭の現状と課題について」

ひとり親家庭におきた、銚子市のような事件が、どうして起きてしまうのか大きな問題です。地裁の裁判ではいろいろな証言がありました。担任はバレー部の顧問で、「お母さんは地味な恰好だったけど、子どもは活発でバレー部のユニフォームも買ってもらっていました。練習試合の送迎もちゃんとやってくれていました」と。就学援助を受けているので困っている世帯だろうとは認識していた一方、部活の費用とかユニフォームはそろえるし、「なんか困っていないのかな？と思っていた」というのが証言でした。でもお母さんは一人で困っていた。ご近所のママに借金を断られて困っていたが、外からはわからないようにしていた。

知り合いにシングルマザー・ファザーのご家庭があるかも知れない。外から見ると、「まあまあ普通に暮らしている家庭」に見えるかも知れない。でも実際のところは「何とかして外から見えないようにしたい」と思っている。給料日前はご飯にふりかけかも知れないけれど、洋服はリサイクルショップなどを買いながらちゃんと着て、お子さんにも着せているとか。「あなたは貧乏なの？」とは言えない中で何ができるかが課題だと思います。

貧困の社会的支援の中で一番役立っているのは、児童扶養手当@4万2千円です。栃木県では放課後の居場所づくりを4カ所で応援し、放課後に食事と学習支援をしています。足立区も「子どもの貧困対策元年」として、行政持ちでいるような居場所づくりをしています。神奈川県田奈高校で「ぴっかりカフェ」で週1回子どもたちにドリンクを提供。各地で「子ども食堂」が開かれています。

（しんぐるまざー・ふぉーらむ 赤石千衣子さん）

## 「相談活動から見た子どもの支援の課題について」

虐待防止を目的にしている児童家庭支援センターは、千葉県内10か所で開設している。貧困と虐待は密接に関係している。「このままいると死んじゃうよ！」という危険なラインにいる子どもは児童養護施設に行き、その前に何とかしないと、問題解決したいという子どもが児童家庭支援センターに来る。対象は18歳までだが、今は施設の退所者（18歳以上）もみることになった。サポートする人たちの社会資源や地域資源が不足し、ポコーンと抜けている地域がある。

心中も虐待。お金だけでなく、多問題で多重逆境下における家庭が非常に多い。地縁がない、車がない等お金では解決しない問題を複雑にかかえている。子育ての孤立化を防ぐためにカウンセリングを行う。個別の家庭訪問、登校支援も必要、心のケアも欠かせない。弁護士さんの紹介や自己破産の手続きなどもある。普通に離婚してもめっちゃ傷つくし、しんどいの、DVが原因だと更につらい。それによって自分をふりかえる時間のゆとりがない。外国人の問題は深刻だ。何とか県内の支援の空白地域を埋めるようなネットワークをつくり、メンテナンステキにしていきたいと思っている。

（児童家庭支援センター「ファミリーセンター ヴイオラ」相談員 宇田川 政男さん）

## 千葉県子どもの貧困対策推進計画（案）

子どもの貧困対策推進計画は、現在全国のほぼすべての自治体で作成中または作成済み。期間は平成27年度から平成31年度までの5か年間。

基本理念は、すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、夢と希望をもって成長して、「千葉で生まれてよかった」と思える社会の実現を目指す。そのため、それぞれの立場から責任を自覚し、相互に連携し、社会全体で子どもの成長を支える社会づくりに取り組む。

※貧困対策推進計画詳細は千葉県HPを参照

（千葉県健康福祉部健康福祉指導課副課長

岩谷 剛秀さん）

# 子育て中の親が、孤立する要因は？

ママたちのおしゃべり会や子育て応援者の集まりで出されたりリアルな要因と声



## ○地域の要因

- ・出産間際まで仕事をしていて、近所に知り合いがいない
- ・転勤、引っ越しなどで新しい土地になじめない。声もかけてもらえない。
- ・近所に子育て世代がない
- ・大人と出会って話すことがない
- ・地域に家はあっても寝るだけつながりがない
- ・双子など、母親ひとりで外出をするのが大変
- ・タワーマンションの高層階に住んでいて、外に出にくい

## ○情報の要因

- ・新聞をとってなくて、市の広報などからの情報が入らない

## ○病気の要因

- ・母親（父親）が精神的な病気（うつ）

- 第1子はなんでも初めてのことばかりで、考えすぎて疲れきってしまった。3人目の子育ては、いろんなことが自分の手からこぼれおちていく。できないのだとあきらめている。

## ○仕事の要因

- ・仕事が忙しく、働く時間が長く生活にゆとりがない
- ・共働きで帰日も遅く、子どもだけで留守番もある
- ・父親の仕事が忙しく、母親が子育ての負担を全部負っている
- ・非正規雇用で生活が不安定
- ・ダブルワークで余裕がない



## ●子育て当事者から

- ・（0歳児の子育て）家から出られないつらさがあった。
- ・保健師さんから夜中の授乳を注意され（1歳の頃）、やめなければいけないと一人でごんばった。
- ・乳児期ただただ漠然とした孤独感が続いた
- ・子どもがだっこしていないと泣く。自分を責めた、その時、誰かに聞いていたらもっと楽になったのに
- ・初めての子育ては、お稽古とか他のママの子育てが気になり「あせり」があった。たくさんの人と関わることで変わってきた
- ・ひとりになる時間がほしいけど、できなくてそれがストレスになる（自分の時間は子どもとパパが寝てしまってから作っている/朝早く起きて、ひとりでお風呂にはいるなど工夫）

## ○心理的な要因

- ・何かトラブルを起こして人がこわい
- ・メールなどを通じた友人関係につまづき、話す人がいない。
- ・人見知りやひっこみ思案で、なかなか外にでて声をかけられない
- ・大丈夫なようで実際は大丈夫ではなく、でも助けてと言えない。
- ・他人に干渉されたくない、人と会わない方がいいと思う。でもさびしい
- ・自分はダメだと思ってしまう

## ○家族の要因

- ・夫が頼りにならない
- ・夫が忙しく育児に協力しない
- ・離婚によって父親のみ、母親のみの子育てになり、生活にゆとりがない
- ・夫婦の親、きょうだい遠く、手伝ってもらえない
- ・結婚、出産などに反対され、親等の支援が受けられない
- ・親たちが他界して手伝いが頼めない
- ・親と不仲で親モデルがない

- イライラが1か月に1回やってきて、訳もなく子どもにあたってしまふ。被害妄想になる。



## セッション

### “孤立感”が大きな要因かと…



Uさん  
でも、ある時バランスが何かの要因でくずれそうになり、行き詰まったような感じや、ひとりぼっち感”をもった人に対し、私たちは地域で何か働きかけができるでしょうか

Kさん

むずかしいのは、そのようなことを口に出して言うことはしない、だから外からはわかりにくい、だから働きかけようにもきつかけがつかれない・・・となってしまうがちなことです。

### 安全で安心な場、関係づくり

\*気軽に集い、ゆったり、ゆったり交流できる「居場所づくり」はできないだろうか。もつと地域の子どもの現状を知ること、知り得る場にかかわること。

\*「ちよつといいですか？」と言っても、対面でも、電話でも話を聴かせてもらえる自分になれたらいい。誰かひとりでも聴いてくれる人がいるだけでいい。そうしたひとりに私たちはなりません。

\*民間、行政に関わらず、アンテナを張って情報を集め、「この人にはもしかして役に立つかもしれない」とタイムリーに出せたらいい。上から目線の支援は反発を招くだけ。支援を求めようにも、どこに何をどう頼めばいいのかわからない実情をかかえている。貧困対策計画等をつくっただけでは何も変わらない。

\*地域に、助ける側・られる側でない「お互いさま」のフラットな関係をつくれば変化する課題に対し応用が利くのではないのでしょうか。

芸術家ならではの指導力に子どもたちの興味と関心が広がる！

授業として学校で実施 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」は12月上旬までに21校終了



**八千代市 米本小学校** 10月16日(金)  
18人(4年) 国語  
芸術家：柳家千寿 柳家寿伴  
内容：落語実演「寿限無」「そろそろ」  
扇子と手ぬぐいを使って 小晰挑戦

事前に学習してみんなが言える「寿限無」を落語家実演すると、ビックリともせず聞き入っていた。高座に上がって小晰に挑戦。最初は横にいる講師に助けを求めていたが、すぐに堂々と前を向いて披露、みんなからの笑いがおきて楽しそうだった。  
●「本で落語を読むより聞いた方がおもしろかった。」「表現力がすごかった。落語がもっと好きになった。」「前に出てたのしかった。」休憩時間には「もっと聞きたい～はまった！」と女の子が千寿さんに満面の笑顔。

**市川市 大町小学校** 10月16日(金)  
38人(5年6年) 音楽  
芸術家：B.B.モフラン  
ダウディ・ジョセフ 当間典子  
内容：アフリカ音楽や歌を披露 アフリカの話 リズム遊び ジャンベを叩く

異国のリズムに酔い、「外国人だったから、少しこわいかな～と思ったけど、すごく、やさしくて安心した」のように世界に関心が広がった。また、音楽に対する「のりの良さ」を体験し、部活での演奏が明るくなった。  
●「太鼓をたたいたり、ダンスをとても楽しかった。」「太鼓にも毛が生えていてびっくりした。色々な太鼓におどろいた。」「気持ち良かった。歌もすごくきれいで、聞きごちがよかったです！」

**船橋市 高根小学校** 10月23日(金)  
26人(4年) 国語  
芸術家：古今亭志ん八 柳家花ん謝  
内容：落語実演「寿限無」「転失気」、扇子と手ぬぐいを使って食べる所作 小晰

落語を聞いて、身体全体で笑って楽しんでしまった。緋毛氈の上に乗ってそば、ピザ、バナナ、何かを食べる所作をして当てる、みんな自分なりの表現で実に楽しそう。最後は落語を仕事にしている大人へ「1年に何回仕事があるの？」などの好奇心いっぱいの質問が続いた。  
●「なみだが出るほど楽しかった。」「落語は初めて聞いた。」「やってみたくなった。」「舞台上に立ったらすごくいい気持ち。」「すごく緊張したけど、みんなが笑ってくれてうれしかった。」

**松戸市 高木小学校** 10月27日(火)  
48人(6年) 音楽  
芸術家：松本伸二 (ユ・フィル千葉)  
山下由美 鈴木里佳  
内容：フルートのデュエットやフルートとピアノ(ノカルメン前奏曲他) ペットボトルやフルートで体験 「雨の音」合奏

緊張した様子で、きれいな迫力あるフルートの演奏を聴き、フルートに挑戦。なかなか音が出ないで苦戦した子ども、丁寧な指導で音を出せるようになってうれしそう。リコーダーとフルートの原理が同じだと知りびっくり、身近になった。  
●フルートは難しかったけどすごく楽しかった。オーケストラの事を沢山知った。  
●フルートの演奏がとてもキレイだった！本当にすごかった、また聞きたい。プラスでもがんばろうと思った。

**佐倉市 和田小学校** 11月5日(木)  
30人(1～3年) 総合学習  
芸術家：ポリ&プッチー  
内容：ぶりのジャグリング披露  
リクエストで風船作品披露 風船で作って遊ぶ(ねずみ お花 弓矢)

ジャグリングを目の前でみて「すごい！」絶妙の技に感動。風船をねじるのは怖そうだったが、講師のおしやべりにひっくりかえって笑い、最後まであきらめずに全員が完成させた。お互いにうれしそうに見せ合っていた。  
●「むずかしかったけど がんばった。」「じぶんでふうせんを作ったことがないのでもっといろいろなしゅるいをやりたい。」ふうせんをいっぱいつくってたのしかった。こんどもおねがいます。」

**市原市 平三小学校** 11月5日(木)  
7人(1～6年) 国語  
芸術家：春風亭朝也  
内容：「落ち」など落語の説明、「転失気」「牛ほめ」小晰の実演、高座に上って仕草や小晰を体験

仕草の当てっこでは、手ぬぐいで本を読む仕草を「スマホ」、扇子でそばを食べる仕草を「ラーメン」と…現代っ子だ。次々続く小晰に声を上げて大笑。高座に上がる初体験で緊張感いっぱいな様子に、壺家さんが「電池切れか？」と笑わせながら上手くフォロー。友だちの声援や教師の温かいまなざしの中、全員がそれぞれの表情でやり終え、安堵感で笑顔に戻った。  
●自分でやった時すこし緊張したけど、みんなとかが笑ってくれたからよかった。

**印西市 栄治小学校** 11月7日(月)  
30人(4～6年) 総合学習  
芸術家：チカパン  
内容：パントマイムを見る 簡単なパントマイムにチャレンジ 小さい作品発表

はじめはみんな緊張していたが、だんだん引きこまれてリラックス、楽しんでチームに分かれてパントを考え、目を輝かせて発表していた。全員が主役になって楽しんでた。決して強制ではなく、子どもたちの心を引きこんでいくチカパンの術に教師も感心。  
●「テレビで何回も見ただけで生で見ると、やっぱりすごい。」「エレベーター・エスカレーター・ちょうちょなど、いろいろおぼえられて良かった。」「次はむずかしいのもやりたい。」

**茂原市 本納小学校** 11月16日(月)  
29人(6年) 国語  
芸術家：大蔵教義 宮本昇 上田圭輔  
内容：狂言についての説明 実演「柿山伏」登場人物が 衣装体験「太郎冠者・伊茶」に变身 体験(発声・構え・摺り足)

広い体育館に松が映える能舞台が出現。大きな声や様式美、ストーリーのおもしろさに引き付けられ食い入るように見ていた。体験ではどの子も積極的に声を出し、構えや摺り足に挑戦した。  
●「600年も続いているのは、すごいなあと思った。」「表現(泣く、おこる)などが面白かった。体験事業が面白かった。」「柿山伏」も面白かった。またやってみよう。「狂言の演技がすごかったので、また見たい。」

**鎌倉市 権柴小学校** 11月25日(水)  
25人(年)総合的な学習  
芸術家：春風亭 朝也 柳家花ん謝  
内容：落語の解説 実演「寿限無」「牛ほめ」小道具を使って落語の世界を体験

緊張しながらも興味津々の表情で子どもたちが入場、落語家の皆さんに、はきはきと挨拶。「人生で初めて落語を生で聞いた！」と楽しそう。小晰に挑戦では照れながらも自分で考えたオリジナルの噺を披露していた。  
●「落語は最後に必ずオチがあって、聞きまがいが多くてとてもおもしろかった。」「そばをたべるときにずるずるという音をだすのがむずかしかった。」「落語の道具の使い方やルールなどもわかったし、日本の昔のことがよくわかった。」

**野田市 福田第二小学校** 11月26日(木)  
25人(5年6年) 国語  
芸術家：小森創介(演劇)  
内容：コミュニケーション(指示ゲーム「ゴー&ストップ」) 色や形探し 全身ジャケ他) ナンセンスな俳句を作り身体表現

「大声を出したのは久しぶり」と、価値観の違いを知るゲームで体も頭も使って真剣に楽しんだ。ぼくとみんなはもう友達！俳優・声優という職業が身近になった。  
●「ゴー&ストップの指示を反対にするのがすごく難しい、言葉と体は結びたいのがおもしろかった。またやりたい。」「言葉も出さないで体だけで表現して、ワークショップのすごさがわかった。」  
「ぼくは想像力がないけど、今日やったら想像がふくらんだ。」

**木更津市 中郷小学校** 11月30日(月)  
64人(4～6年) 特別活動(学活)  
芸術家：チカパン  
内容：①パントマイムを見る②簡単なパントマイムにチャレンジ③小さい作品作り・発表(グループ)

「みんなちがっていいんだよ」というチカパンからのメッセージで、生き生きとグループ発表をしていた。教室に戻ってから、パントマイムごっこでクイズや遊びが広がり、楽しんでいた。  
●「手をパーにして壁があるのを伝えたりしたいのがおもしろかった。またやりたい。」「言葉も出さないで体だけで表現して、ワークショップのすごさがわかった。」  
「ぼくは想像力がないけど、今日やったら想像がふくらんだ。」

**茂原市 豊岡小学校** 11月30日(月)  
33人(6年) 国語  
芸術家：大蔵教義 上田圭輔  
内容：狂言実演「柿山伏」体験(発声・摺り足) 装束の試着 登場人物が役

体育館に響く声や演技の迫力にくぎ付け。登場人物クイズでリラックスし、動物の鳴き声も真似していた。体験した「驚き」の表現を気に入って何度もやっていた。体験後すぐ教科書の「柿山伏」を読んだ子が「ここ、台詞がかぶっているところだね。」と、2人同時に台詞を言っていたのを思い出した。  
●「ここまで楽しませるとは思わなかった。」「狂言に興味を持った。すごく真剣にやっていてすごかった。」「衣装きれい。帯がきつかった。」

**木更津市 鎌足小学校** 12月4日(金)  
37人(1～3年) 図画工作  
芸術家：永野むつみ 大澤直(人形劇)  
内容：カラーの紙封筒、紙、テープ等を使い見たことない生き物を想像し作成

たくさんの彩り豊かな材料を自分で選び、珍しいはさみや道具を使い、思うままに『見たこともない生き物』を作って楽しんだ。最後にみんなの前で、自分の作った人形を得意そうに紹介、人前で発表するのが得意でない子どももみんながやりたかった。  
●「おもしろい世界で一つだけの人形をつくれて良かった」「もっと人形をつくりたかった。」「画用紙でつくったのが、楽しかった。」「作ったり遊んだりして楽しかった。」

**千葉市 大蔵寺小学校** 12月4日(金)  
26人(4年5年) 国語  
芸術家：春風亭朝也 古今亭志ん八  
内容：落語の解説、実演「転失気」「牛ほめ」小晰に挑戦

小晰発表はちよつとはずかしい。そこで全員で見立て遊びをし、自分なりの表現で楽しんだ。最後に5年男子が手をあげ高座に上がりそばを食べるマネを披露。彼はその後「師匠、師匠」とみんなから呼ばれた。モノの長さを表すときに目で追ったりすることも知り、驚いていた。  
●「おもしろすぎてわらいころげた。」「思っていた以上にすごかった。」「いろいろな言葉がわかってよかった。」「ちよつとやりたかったけどはずかしかった。」

**市原市 内田小学校** 12月7日(月)  
26人(4～6年) 国語  
芸術家：古今亭志ん八 三遊亭時松(落語)  
内容：落語の説明、小晰・仕草、「転失気」「ときそば」実演、おそばの食べ方等体験、高座に挑戦

「いつ だれが どこで 何をして どうなった」という言葉遊びゲームで落語の「落ち」の面白さを体験し、そのおかしさに最初から引き込まれた。実演では、のけぞり返ってケラケラと笑いあった。学校から、教師とは違う芸術家の指導の仕方に「素晴らしい！」との評価を得た。  
●たくさんの人の前で、よくきんちょうしないで落語ができるなあ。  
●せんすや手ぬぐいをちがう見方でおもしろい。表情も大事だなあと思った。

**市原市 海上小学校** 12月9日(水)  
28人(4～6年) 総合学習  
芸術家：大洞弘幸 大森靖枝(劇団風の子)  
内容：大なりきりかくれんぼ・いろいろな色鬼・とんとんぼ・表情伝言ゲーム・協力しないで絵を書く

「さんぼの歌で歩き、話を作り、ストップで気持ちを言葉で発し体でポーズ」でテンションが一気に上がり、ポーズ遊びワールドにはまって笑い転げた。続くワークも満足度100%。遊び込むことでどんどんいい表情に変わり、言葉も飛びかった。  
●さんぼの歌の中に色々な動物が出てきて、それをけたり持ったり、いろいろとするのが楽しかった。  
●協力をあえてしないで顔を書くのがとても面白かった。久しぶりに自分のすきなものをかけた。

**市原市 市西小学校** 12月10日(木)  
75人(4～6年) 音楽  
芸術家：B.B.モフラン  
ダウディ・ジョセフ 当間典子  
内容：アフリカの話 アフリカの打楽器の演奏とみんなで叩いてみる体験

事前にモフランさんの出身国コンゴ民主共和国の食べ物、言葉、動物などを調べる取り組みをしていた。当日は舞台中央に手づくりの国旗が掲げられていた。新しい試みを実施でき学校全体に活気が出た。  
●すごくドキドキした。外国人と仲良くできて楽しかった。見たこともない楽器の音がきれいだった。たいこはたたく場所によって音が変わることが分かった。リズムに合わせて演奏するのが楽しかった。

**市原市 鶴舞小学校** 12月11日(金)  
52人(4～6年) 音楽  
芸術家：松本伸二 (ユ・フィル千葉)  
山下由美 吉岡次郎  
内容：フルート・ピアノの演奏(ディズニーから星に願いを他) ペットボトル等で音を出す フルードに挑戦 合奏

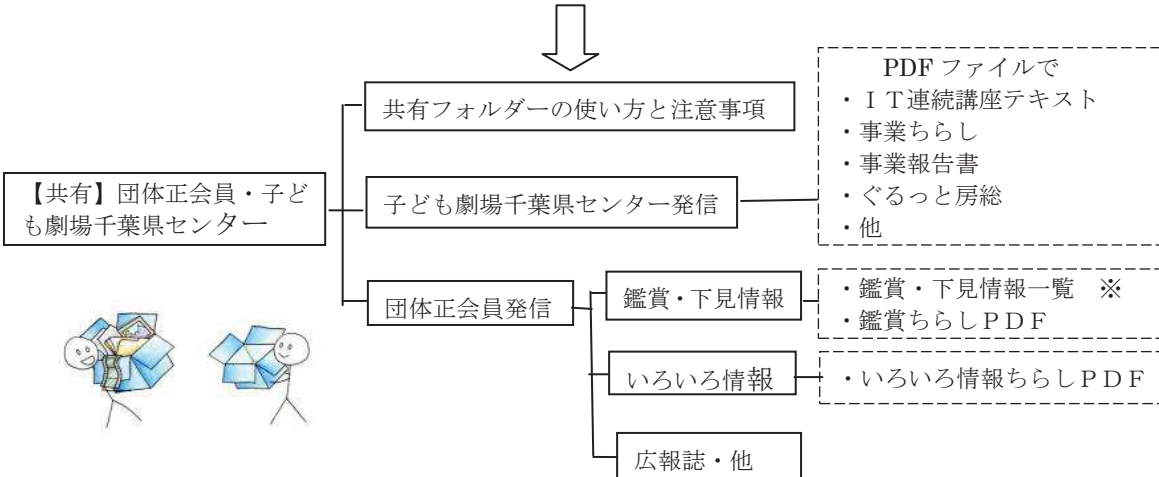
緊張気味にフルートの吹き口に息を吹き込んでも最初は音がでないか、かすかに出る状態。首をあげて、やや上の方を見て、思い切って吹いて等やさしい指導で、美しいフルートの音色を出せるようになり感激。  
●「フルートやピアノの美しい音色に癒された。」「フルートを実際にふけるなんて思っていなかったの、とても楽しかった。」「オーケストラや楽器のことがよくわかった。」「みんなまで合奏ができてよかった。」

# 申し込み受付が合理的に!・鑑賞最新情報がすぐに

昨年9月、3回シリーズで、情報の流れをよくすることにより組織を活性化させ、成果を引き出すことを目的に、9団体20人が参加し、情報共有・情報発信を実践的に学ぶITスキル獲得連続講座を実施しました。参加した団体内では、会議資料を簡単に共有化し、参加者募集やアンケート集計をするなど活用が始まっています。

さて次は情報共有体制を構築する第2ステップへ!この1月、団体正会員同士、あるいは団体正会員と子ども劇場千葉県センターが情報をもっと日常的に共有し、コミュニケーションを活性化させるために、データ共有サービス Dropbox を使った交流が始まります。

## Dropbox フォルダー「[共有] 団体正会員・子ども劇場千葉県センター」名で1月スタート!



講座に参加し、Dropboxアカウントを取得した団体、あるいはすでにアカウントを持っている団体でスタートしますが、今後取得して参加する団体も募集中です。

### ※ 鑑賞・下見情報一覧 (例)

1. 団体正会員・劇団主催公演・地域の団体の公演など、予定やキャッチしたお知らせを書きましょう。詳しくは、主催団体に聞きましょう。
2. 鑑賞したら、作品の様子や感想を書き込み、情報を発信しましょう。主催団体だけでなく鑑賞した複数の団体や個人が書き込んでよいことにします。違う感想もでてくるかもしれませんね。(団体名または個人名等記入しましょう)
3. 予定として書いていなくても、下見してきた作品の情報を書いて交流しましょう。

日程時間	作品名・劇団名	会場	主催団体	対象年齢・チケット等注意事項	形態 (例会・特別公演・地域公演等他)	作品情報を書き⇒⇒ 鑑賞後の作品の特徴や感想に書き換えましょう。
3/18	恋か金銭か吝 奮親父奮戦記	船橋きららホール	県センター	小3以上	チャリティ公演	小学生からおじいちゃんおばあちゃんまで楽しめる人形劇

フォルダー内は部屋はできたものの、空き部屋で、これから管理人を中心にどんどん参加し、書き込みをすることで交流が生まれ、特徴のある部屋になることが期待されます。

### 目指すは団体正会員、県センターが連動して活動に成果をあげることに!

講座実施後、学んだGoogleフォームで参加者アンケートをとった結果「わかりやすい実践的な講座で楽しく学ぶことができ、他の人に教えることができた。Dropboxによる団体内の情報共有、Googleフォームの申し込み、アンケートの作成がすぐに活用できた」と一定の評価が得られています。

一方、今後サポートしてほしい内容もいくつか出され、やっつけていく中の質問も今後でてくることでしょうか。参加者交流の要求もあります。

IT活用ビジョン実施にあたり、昨年5月にヒアリングセッションを行った時、発信ツールは何が有効か、必ずしもITだけではなく、紙媒体、口コミが有効な場合もある。「情報をどこで知ったか」「何にひかれたか」「どの言葉がよかったか」などの評価の視点をいつも持つて様々なアプローチをする必要があることに合意しました。この視点にも再度立ち返りながら、改めて、連携して共に汗をかき、目指す事業の成果にまで結びつけていくことが求められます。

Dropboxのアカウント取得は簡単です。アカウントがあれば共有の招待ができます。千葉県センター事務局まで気軽に連絡を!

## 子どもの健やかな育ちを願って、誰もが、しあわせな子育てを

NPO法人子育てネットワークゆっくっく 理事長 板垣光子



子育てネットゆっくっくは、子育てにやさしいまちづくりの一環として、子育ての社会化を目指して、乳幼児子育て支援活動を展開して、今年で13年が経ちます。又、新たに2012年より、家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業を開始し、2015年より、野田市地域子育て支援拠点事業として取り組んでいくことになりました。

日頃、子育て支援活動を通しては親子の交流の中で、子どもが健やかに育まれることを大切に、子どもだけでなく、親も何らかの支えを得て、子育てに取り組む意欲や自信を高めていけるよう努力してきました。だが、一方では、子育ての環境は今と昔では大きく変わり、少子化に伴い核家族化が進み、子育てしていく上で孤立しやすく「孤育て化」が伺え、痛感してきていました。

ホームスタート事業は「子育てに悩み、辛かったら誰かに相談しよう!」「私の子育て、これでいいの!」「誰かと話したい!」・・・声が届きにくい現状に「一緒に子育てしていきましょうよ」というメッセージを送り、安心して子育てができるつながりをつくっていくきっかけの第一歩と考えています。

子育て中の親が「私の子育てこれでいい!」と自信を持って子どもと向き合い、自分らしい子育てができるように、子育てを応援していく地域力が求められているのではないのでしょうか。

すべての子どもたちがしあわせに生きる権利と、子どもが子どもとして豊かに生きる子ども期を保障していくことを、大人の責務として受け止めていくことで、子育て中の親が、子育て期を楽しくしあわせな子育てに展開していくことができると確信します。

私は、長年子育て支援に関わり、今、改めて思うことは「なぜに、ここまで頑張っているの」と自問自答することがあります。私なりのこだわりとして「すべての子どもは、しあわせでなければいけない、しあわせに生きる権利を守っていかねばならない」という思いが「そのために、今できることをしていこう」という心境にかられている日々です。子どもの不幸な出来事(虐待等)が起こるたびに心が痛み、何か手立てはなかったのだろうかと思いを馳せます。

こんなことを思いながら、行政や他団体との連携につなげていく努力を惜しみなくしていく中で、「NPOさんがやってもらっていることは・・・」「NPOさんがやっていることは・・・」と言われることがあります。そのたびに「NPOだからできることがある・・・」といつも思っています。NPOができる事業は社会資源として活躍できる役割があり、成果は大きいと確信しています。

## 私からのメッセージ

### 子どもたちの成長に関わるために、まずは自分も成長したい

株式会社プロシードジャパン 阿部 南



人に教えるのが好きで、子どもの成長に関われるのはやりがいがあるだろうという思いから、学校の先生になりたいと思っていました。そのため、大学では教育学部に在籍していたのですが、教育学部とは言っても、授業の中で子どもたちと実際に関われる場は、教育実習以外にはほとんどありません。

そのような現状の中で、少しでも子どもと関わる機会が欲しいと思い、子ども向けのイベントにスタッフとして参加するようになりました。特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター等が主催していた「子どもの舞台芸術体験ひろば」もその1つです。

それまで参加していたイベントでは子どもたちとの関わりが主でした。しかし、子どもの舞台芸術体験ひろばでは、親子での参加も多く、親子の関係を見ることができたのと、保護者の方とお話できたのは、貴重な経験となりました。大学を卒業した今年も、スタッフとして参加させて頂きました。子どもたちが、プロのパフォーマーと触れ合い、最後にはキラキラした笑顔で帰っていくのは、とても印象的でした。

真剣に取り組む子どもたちを見ていたら、私も一緒に夢になって参加していました。

このようなイベントへ参加したご縁もありまして、先日は千葉県内で活躍するNPOやボランティアの活動を紹介する「ちば県民活動フェスティバル」にもステージ企画の会社として参加させていただきました。20年近く千葉県に住んでいるにも関わらず、知らない活動も多く、このような活動もあるのかと驚く事も多くありました。そして、今まで関わる事のなかった方々とお話することも出来たので、少しでも自分の世界を広げていこうと思いました。今回、このような機会を頂いたことに大変感謝しております。

大学卒業後、結局学校の先生になっていないのですが、「これからの時代を担う子どもたちの成長に関わりたい」という思いは変わらずあります。学校現場の中からではなく、学校の外から子どもの成長に関わるために、何か機会があれば今後ともよろしく願いいたします。



(特) 子どもネット八千代村上地域主催 地域公演 2015年9月27日(日) 開演17時半  
八千代市村上小学校体育館 参加人数 会員・会員家族195人 一般127人 計322人

### ◆今年の地域活動はいよいよ鑑賞の地域公演を！

私たち村上地域は、8サークル50世帯、会員116名(2015年6月現在) 幼児から青年大人と異年齢で新しい会員とベテラン会員が一緒になって地域の活動に取り組んでいます。村上地域では、資金を少しずつコツコツと貯めて、地域活動の補填にしてきました。

今年度は「自分たちの観たい作品を、地域の子どもたちと一緒に楽しみたい。」という思いで、何年かぶりで地域公演に取り組むことにしました。まずは作品選びから始め、3つのジャンル3作品の中から子どもも大人も一緒に選びました。劇団若駒は、大阪にある劇団で2泊の宿泊もあり、経費はかかります。でも「やっぱり狂言を観たいし子どもたちにみせたい。自分たちの地域で狂言が観れたらいいよね！素敵だよね！」と実施を決め、各サークル長さんと地域担当で毎月開催している村上地域委員会で、8か月間準備をして当日を迎えました。



### ◆やっぱり狂言はおもしろい！

この作品は日本最古の喜劇である狂言の中の「柿山伏」「神鳴」「二人袴」という有名なお話を、お笑いの本場大阪の民族芸能アンサンブル若駒が、狂言の基本に忠実に、今の子ども達にも分かりやすいお芝居に仕立てています。円形の舞台を客席が囲んでいるので、友達の顔がよく見えます。まずは、「どろピカぼん」の歌で始まりました。子どもたちは、すぐに口ずさめるような歌に、これから何が始まるかとドキドキわくわく、みんなの期待感が高まっていきました。「柿山伏」では、まるで、自分が柿をとって食べているように嬉しそうで、幸せそうな表情でした。夢中になって思わず声をかけると、役者さんがちゃんと受け止めてくれて、うれしそうでした。その掛け合いも楽しく、生の舞台ならではのよさです。鼻の頭を黒くただけで狸に見えたり、とにかく楽しく大笑いしていました。

狂言は子どもには難しいと思われがちですが、上方のお笑いの要素の入ったお芝居に、始まってすぐにそのおもしろさに魅了され、みんなの心に残る舞台になりました。

### ◆地域の子どもたちに鑑賞の機会を届けたい！

八千代市では、昔から学校公演が行われていません。子どもたちが生の舞台と出会う機会は少なく「地域の子どもたちに届けたい。一緒に楽しもう！」ということを経験者みんなで確認しました。

地域内の4つの小学校にチラシ配布をして呼びかけ、自宅前にポスターを貼ったり、開催校の扉には、一週間前からポスターを貼りならべ地域の大人や子どもたちに知らせました。チラシやメールを使って直接声かけし、中には“友達と一緒に観たい！”と学校の朝の会でクラス中に呼びかけて誘った子どももいました。



### ◆終演後のもう一つのお楽しみ！

終演後には、みんなで狂言の所作(歩き方・座り方・笑い方)など教えてもらい、みんなで練習してみました。体験もでき、狂言が身近に感じられました。

### ◆友達・家族と一緒に観たから楽しさが広がった！

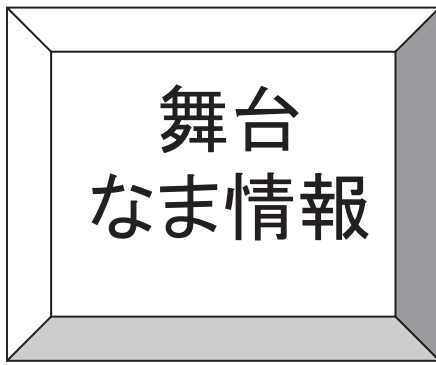
同じ舞台を観たことで、後々まで楽しい余韻が続いている声が届きました。同じ体験をしたからこそです。  
☆一緒に観た友達と、遊んでいる時どろピカぼんの歌を一人が口ずさむと自然にみんなで歌ったよ。  
☆学校に行く時、皆ですり足歩きで歩いて行ったよ。  
☆家族で観たので、座り方や基本姿勢をお父さんと一緒に家族でしています。

### ◆満員御礼322人！みんなの思いが届いた！

予定の参加人数をはるかに超えることができ、大成功に終わりました。たくさんの子どもに見せたいと声をかけ、前日まで申し込みがありました。初めて体験した会員も何回も地域公演を体験している会員も、やって良かったという充実感でいっぱいでした。みんなが目的に向かいやりきり、文化が地域の人と人をつなぎました。

<村上地区 鈴木佳子>

**編集後記** 今年は閏年、リオデジャネイロでのオリンピックの年ですね。オリンピックの夢を追う日本の若い選手たちの活躍に期待しています。そして、子どもたち誰もが「夢をもてる・夢にむかっていける」ことをあきらめない、そんな社会になるよう応援するひとりでありたいと思います。今年もどうぞよろしくお祈りします。(椎名)



- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
  - ・ 役員の下見は5名まで無料
  - ・ その子どもは1人1,000円
  - ・ その他は1人2,000円  
(子ども、おとな同額)

## 第79号別冊 <2016年2月～4月>

### 舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団風の子(中部)	いろはにこんぺいとう	3/5	13:30	イオン稲毛文化ホール	千葉中央	幼児・大人
◇ アート企画 陽だまり	震災後の演劇を考える児童・青少年演劇 空の村号	3/6	14:00	四街道市立四街道小学校体育館	四街道	小1～大人
◇ 演劇企画オフィス・アートプラン	すてきな三にんぐみ	3/19	14:30	西白井複合センター	白井	幼児～大人
◇ 劇団銅鑼	ハンナのかばん	4/2	18:00	千葉市文化センターホール	千葉北	小4～大人
◇ 劇団うりんこ	はぐれ峠のわらい鬼	4/23	18:30	船橋市内公民館	船橋	幼児～大人
◇ ざんぱら企画	ざんさんのおはなし劇場	4/24	16:00/19:00	新習志野公民館(予定)	ならしの	小4～大人

### 人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ さんさん劇場	よせ鍋寄席	2/11	18:30	千葉聴覚障害者センター	千葉西	小4～大人
☆ 人形劇団夢知遊座	恋か金銭か吝嗇親父奮戦記	3/18	19:00	船橋市民文化創造館きららホール	千葉県センター	小3～大人
☆ 人形劇団ひぼぼたあむ	チツとチョコ	3/27	午前午後2st	市川市文化会館ローズルーム	市川中央	3才～大人
☆ 人形劇団ひぼぼたあむ	かえるくん・かえるくん	4/17	未定	印西市内公民館	いんざい	幼児～大人

### 音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ 日本サロンコンサート協会	魔法のケンハモ&セロ弾きのゴーシュ	4/2	11:00	市川市文化会館小ホール	市川北	幼児～大人

### 芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ 松元ヒロ	松元ヒロ・ソロライブin松戸	2/17	18:30	松戸市民劇場	まつど	中学生～大ノ
◎ 蒼い企画	びりとブッチィーのクラウニングシアター	2/27	18:00	成田市文化芸術センター	成田	幼児～大人
◎ ざんぱら企画	金子ざんの一人芸 めげさく芸	2/27	18:00	袖ヶ浦市根形公民館視聴覚室	袖ヶ浦	小4～大人
◎ 蒼い企画	びりとブッチィーのクラウニングシアター	2/28	18:30	習志野市民会館	ならしの	3才～大人
◎ 松元ヒロ	松元ヒロ・ソロライブ	3/5	18:30	船橋市民文化創造館きららホール	船橋	中学生～大ノ
◎ アフタフ・バーパン	ゆかいなおかしなシアター うん・どうかい	3/6	13:00	佐倉中央公民館	佐倉	小1～小6
◎ 蒼い企画	ピクチャーブック	4/17	17:00	八千代市市民会館小ホール	八千代	幼児～大人



# きらきらわくわく情報

2016年2月～4月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ おしゃべりほっとスペース こーひーかつぷ	2/1.15.3/7	市川市菅野公民館	市川北	乳幼児の活動
▪ ママたちのエアロビクラブ シェイク	2/1.15.22.3/7	市川市菅谷公民館	市川北	
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	2/1.25.3/3.14	袖ヶ浦市神納コミュニティセンターほか	袖ヶ浦	
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日	2/2.16.3/8.4/12.26	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	2/2.23.3/1.8.4/19.26	白井市内公園ほか	白井	
▪ 乳幼児とママのための居場所 ほわりん	2/2.18.3/1.17	袖ヶ浦市代宿児童館	袖ヶ浦	
▪ おしゃべりほっとスペース ぶらっとhome	2/3.10.17.24.3/2.9.16.23.30	市川市大野地域ふれあい館	市川北	
▪ おやこサークル ぴょんぴょんキッズ	2/4.18.3/3	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日	2/4.18.3/3.4/14.28	市川市行徳公民館	市川行徳	
▪ 母と乳幼児のほっとスペース はっぴいスペース	2/4.18.3/3.17.4/7.21	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ 幼児おやこリズム体操	2/4.18.3/10	千葉市文化センター、千葉市子ども交流館	千葉中央	
▪ リラックスココヨガ	2/5.19.3/4.11	市川市菅谷公民館	市川北	
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	2/5.12.19.26.3/4.11.18	四街道市四区集会所	四街道	
▪ 幼児親子体験ひろば はぴはぴクラブ 釜揚げうどん作り	2/7	習志野市谷津公民館	ならしの	
▪ おやこサークル わくわくキッズ	2/9.23.3/8	市川市勤労福祉センター	市川中央	
▪ 0～3才親子の居場所 ぴょんぴょんクラブ	2/10.24	八千代市ふれあいプラザ	八千代	
▪ 乳幼児の親子のためのサークル ぶらんこ	2/12.26.3/4	流山市内公民館ほか	流山	
▪ おやこサークル わいわいキッズ	2/12.26.3/11	市川駅南公民館	市川中央	
▪ 親子クラブ プレンジ	2/12.26.3/4.11	市川市菅谷公民館	市川北	
▪ 幼児ほっこりランチルーム	2/12.3/4	千葉中央おやこ劇場事務所	千葉中央	
▪ 森deアート	2/14.3/13	佐倉城址公園	佐倉	
▪ 親子体操とてあそびうた	2/24.3/23.4/27	習志野市屋敷公民館	ならしの	
▪ おやこふれあい体験あそび Active Kids	2/25.3/5.24.4/14.28	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ 乳幼児サークルのびのびキッズ 参加劇ぐるりんば	3/1	成田市保健福祉館	成田	
▪ いちご狩り	3/2	八千代市周郷農園	八千代	
▪ 子育て広場 はっぴのおうち	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	
▪ おしゃべりほっとスペース ぴよぴよひろば	第2・3木	市川市八幡地域ふれあい館	市川中央	
▪ おしゃべりほっとスペース きらきらひろば	第2・3金	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ 乳幼児サークル	未定	印西市内集会所	いんざい	
▪ 乳幼児の親の活動 みっちゃんとおぼろ！	2/4	四街道市四区集会所	四街道	講演会・学習会 ワークショップ
▪ 誰も見たことのない生き物を作ろう	2/6	野田市総合福祉会館	野田	
▪ 大人のおそぼうかい！革細工でいろんなものを作ろう	2/9	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ くぼたまさとさん工作ショー	2/13	野田市私立岩木幼稚園	野田	
▪ びりとブッチャーのクラウンワーク&親子和太鼓体験	2/20	勝田台文化センター	八千代	
▪ 手作りおもちゃ講習会	2/23	そでがうらこども館	袖ヶ浦	
▪ うまれるって ステキ ふしぎ	3/5	野田市総合福祉会館	野田	
▪ 永野むつみさん講演会 子どもの受けとめる力を信じて	3/15	印西市内公民館	いんざい	
▪ 春のお泊り会	3/24～25	八千代市少年自然の家	八千代	高学年の活動
▪ 北総春の交流会	3/25～27	茨城県あすなろの里	成田	
▪ 市川浦安青春交流会	3/26～28	佐倉市草ぶえの丘	市川行徳	
▪ 小学3年～青年のお泊り会 春の合宿	3月末	柏市手賀の丘少年自然の家	流山	
▪ 春休み 高学年遠足	春休み	未定	いんざい	

いろいろ体験活動

活動	日程	場所	主催団体
▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	2/3.5.10.12.17.19.24.26	四街道市四区集会所	四街道
▪ 親子で楽しむはじめてのデコパージュ	2/11	印西市船穂コミュニティセンター	いんざい
▪ わくわくKIDS 春を感じるおやつ作り	2/13	船橋市高根台公民館	船橋
▪ 親子バス遠足	2/13	多古町しんのみくうかん	八千代
▪ 忍者修行inなりた～忍びの心を呼びませ～	2/13	成田市赤坂公園&中央公民館	成田
▪ お菓子作りを楽しもう!	2/13	千葉市あすみが丘プラザ	緑区
▪ つくってあそんでわくわく! 昔あそび体験Part2	2/14	市川市勤労福祉センター大会議室ほか	市川中央
▪ あそぼうかい!小学生あつまれたこやきパーティ	2/19	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
▪ 月例自然遊び体験 空き缶ごはん	2/21	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
▪ 和太鼓響	2/22	勝田台文化センター	八千代
▪ 母たちの飾りずし	2/22	印西市内集会所	いんざい
▪ あそぼうかい!親子であつまれ!革細工	2/24	市川市行徳公民館	市川行徳
▪ 2月あそびの会 つくって食べよう	2月未定	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北
▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	3/2.4.9.11.16.18	四街道市四区集会所	四街道
▪ 幼児から大人まで遊ぶ会 あそぼの会	3/6	流山市内公園、公民館ほか	流山
▪ お菓子の家づくり	3/6	印西市内公民館	いんざい
▪ わくわくKIDS 表現遊び～忍者ごっこ～	3/12	船橋市内公民館	船橋
▪ 月例自然遊び体験 おもちつき	3/13	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
▪ わんぱく広場	3/20(予定)	市川市東海面公園または南部公園	市川行徳
▪ こどものまち スマイルグリーンシティ	3/20・21	あすみが丘パースモール(20日) あすみが丘プラザ(21日)	緑区
▪ 稲毛こどものまち GBT-i	3/20	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉中央
▪ 春の親子お泊り会	3/25～26	長生郡長柄町千葉市少年自然の家	八千代
▪ 子どもがつくるこどものまち ならしのこまち	3/26(雨天の場合27)	習志野市中央公園	ならしの
▪ 和太鼓響おさらい会	3/28・29	勝田台文化センター	八千代
▪ 3月あそびの会 パームクーヘンづくり	3月未定	千葉市100万本こもれびの里	千葉北
▪ 春休み 幼児・小学低学年合同遠足	春休み	未定	いんざい
▪ 子どもの料理講習会	4/1	未定	浦安
▪ 凧揚げ・進級進学お祝い会	4/9・10(雨天順延)	印西市内広場・公民館	いんざい
▪ 春の風まつり2016	4/17	船橋市アルピス前原中央公園	船橋
▪ こどもまつり2016	4/24	八千代市立村上小学校	八千代
▪ 子どもまつり2016	4/24(雨天の場合29)	成田市赤坂公園芝生広場	成田
▪ デイキャンプ	4/29	船橋県民の森	白井
▪ こどもまつり2016	4/29	佐倉城址公園 本丸跡	佐倉

## 子どもと文化 イベント情報

- ◆ **ワークショップ「誰も見たことのない生き物を作ろう」**  
人形劇団ひぼぼたあむ永野むつみさん  
2月6日(土)14:00~16:00  
場所:野田市総合福祉会館第3会議室  
対象:幼児~大人 定員20名  
参加費:1,000円  
主催/(特)野田子ども劇場  
Tel.04-7124-8419
- ◆ **こどもの体験ゆめひろば**  
子どもゆめ基金助成活動  
2月20日(土)10:00~16:00  
場所:勝田台文化センター  
対象:幼児~小学生  
参加費:①クラウンワーク500円  
②和太鼓体験1,000円  
主催/(特)子どもネット八千代  
Tel.047-486-4699
- ◆ **稲毛こどものまちCBT-i**  
千葉市こどものまちをもっと身近なところで開催  
3月20日(日)10:00~16:00  
場所:千葉市小中台地域福祉交流館  
対象:小学1年生~高校3年生  
参加費:300円(事前申込制)  
主催/稲毛こどものまちCBT-i実行委員会  
問合せ/実行委員会事務局(千葉中央おやこ劇場)  
Tel.043-251-0142
- ◆ **人形劇鑑賞会「よせ鍋寄席」**  
さんさん劇場公演。いろいろなお笑いが観られる寄席(3部構成)です。  
おかしなマジックショー、顔出し人形演じる落語、時代横町「オマエヒヤクマテ」爺さん婆さんの恋物語。  
ひと時皆で笑って温まってください  
2月11日(木・祝)開演18:30  
場所:千葉聴覚障害者センター3階多目的ホール  
対象:小学4年生~大人  
参加費:子ども2,500円 大人3,000円  
主催/千葉西おやこ劇場  
Tel.043-272-1416
- ◆ **金子さん一人芸「ぬけさく芸」**  
ひとり歌舞伎・ひとり文楽・ひとり宝塚  
ひとり京劇・すもう解説・絵解きなどなど。  
何が飛び出すかお楽しみに!  
2月27日(土)開演18:00  
場所:袖ヶ浦市根形公民館視聴覚室  
対象:小学4年生~大人 定員100名  
参加費:子ども1,000円 大人1,500円(当日500円増し)  
主催/(特)子どもるーぶ袖ヶ浦  
Tel.0438-63-2850
- ◆ **子どもがつくる子どものまち「ならしのこまち」**  
いっぱい動いていっぱいあそぼう!  
3月26日(土)10:00~15:00(雨天の場合27日)  
場所:習志野市中央公園  
対象:3才~小学生(未就学児は親子で入場)  
参加費:未定(500円程度)  
主催/(特)ならしの子ども劇場  
Tel.047-451-3676
- ◆ **音楽鑑賞会「魔法のケンハモ&セロ弾きのゴーシュ」**  
日本サロンコンサート協会。鍵盤ハーモニカの驚きの音色!声優の朗読と管弦楽四重奏のコラボ  
4月2日(土)開場10:45 開演11:00(当日座席指定)  
場所:市川市文化会館小ホール  
対象:幼児~大人  
参加費:子ども1,500円 大人2,500円  
(当日300円増し)親子ペア券3,500円は前売のみ  
主催/(特)市川子ども文化ステーション北地区  
Tel.047-339-7744
- ◆ **特別公演 松元ヒロ・ソロライブ**  
3月5日(土)開場18:00 開演18:30  
場所:船橋市民文化創造館きららホール  
対象:中学生~大人  
参加費:2,500円  
主催/(特)船橋子ども劇場  
Tel.047-424-0851
- ◆ **鑑賞会 震災後の演劇を考える 児童青少年演劇「空の村号」**  
ドラマ・リーディング  
3月6日(日)開場13:30 開演14:00  
場所:四街道市立四街道小学校  
対象:小学1年生~大人  
特別会費:2,000円 親子ペア1組3,000円  
主催/(特)四街道子どもネットワーク  
Tel.043-423-5381
- ◆ **永野むつみさん講演会(幼児編・思春期編)**  
「子どもの受けとめる力を信じて」  
子どもの心を育てるために大切なこと、子育てに関わる親の気持ちや、子どもはどのように親を感じているか、また成長途中の思春期に直面した時の心構えなど  
3月15日(火) 時間未定 場所:印西市内公民館  
対象:大人 参加費:1,000円  
主催/(特)いんざい子ども劇場0476-46-6287
- ◆ **子どもフェア2016inちば ~子どもは子どもでいいんだ!~**  
4月23日(土)24日(日)10:00~16:00  
場所:千葉市きほーる1階きほーる広場  
主催/子どもフェア実行委員会  
問合せ/(特)千葉子どもネット043-266-8419  
こども人権ネットちば総会&関連学習会は3月19日(土)13:00~15:00きほーる11階のボランティア活動室で高橋亮平さん「18才の選挙権の実現に向けて」(仮称)
- ◆ **子どもまつり2016**  
子ども実行委員15人が企画運営から関わります。  
人間天ぷらなど子ども大人も思いっきりあそぼう!  
4月24日(日)10:00~14:00(雨天の場合29日)  
場所:成田市赤坂公園芝生広場  
対象:3才~ 参加費:未定  
主催/(特)子どもプラザ成田0476-29-1387
- ◆ **子どもまつり2016**  
小学生が実行委員になり企画・準備・運営まで行います。  
子ども大人も一緒に一日遊びつくそう!  
4月29日(金・祝)9:30~15:30  
場所:佐倉城址公園 本丸跡  
対象:どなたでも 参加費:200円(保険代含む)  
主催/(特)NPO佐倉子どもステーション  
Tel.043-487-1655
- ◆ **つくってあそんでわくわく! 昔あそび体験! パート2**  
午前は、こまのだけちゃんのパフォーマンスとあそびについて討論。午後は華道、茶道、昔あそび体験。  
こま、竹トンボ、折り紙、お手玉、カルタ、あやとり等  
2月14日(日)10:30~16:30  
場所:市川市勤労福祉センター大会議室ほか  
対象:4才~小学6年生と保護者  
参加費:500円  
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区  
Tel.047-332-3024
- ◆ **松元ヒロ・ソロライブin松戸**  
2月17日(水)開場18:00 開演18:30  
場所:松戸市人劇場  
対象:中学生~大人  
参加費:中高生1,300円 大人2,300円  
(当日200円増し)、ペア券4,000円は前売のみ  
主催/(特)子どもとまつど  
Tel.047-344-2272
- ◆ **ママパパラインちばキャンペーン (Tel.043-204-9390)**  
子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。  
安心してゆっくりおはなしてください。  
電話だからこそ何でも言える。  
気軽にダイヤルを!  
2月15日(月)~20日(土)  
6日間毎日10:00~16:00  
主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
Tel.043-301-7262

※(特)は特定非営利活動法人を略しています  
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは各主催団体をお願いします。

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 四街道子どもネットワーク	043-423-5381
● NPO法人 子どもっとまつど	047-344-2272	● やちまたおやこ劇場	043-442-3257
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
● NPO法人 ならし子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 NPO佐倉子どもステーション	043-487-1655	● NPO法人 里山会	047-482-4613
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387		